

平成30年9月3日
東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題 平成30年度多伎いちじく出発式開催

(ダイジェスト)

8月23日、多伎農産物集荷所において平成30年度の多伎いちじく出発式が開催されました。

販売高7,800万円(前年比105%)、出荷量20万パック(前年比:114%)を目指し、10月下旬頃まで収穫を行います。

出発式は多伎いちじく生産部会(部会員90名)の部会員のほか、関係者を含め約60名が参加し開催されました。式典が始まった朝10時には、すでに34.5℃まで気温が上がり、オープニングで披露された「いさり火太鼓同好会」の子供たちは、玉のような汗をかきながら陣太鼓をたたいていました。

今年の露地いちじくは、昨年より4日早い8月9日から収穫が始まりました。出発式に先行して出荷されたいちじくは、高温のためやや色づきが悪いものの、糖度は例年に比べ高く市場評価もまずまずです。

多伎いちじく部会では、毎年部会員からの公募により出荷スローガンを決め、集荷所の入口に垂れ幕を掲げています。出発式に先駆けて行われた出荷総会で、今年のスローガンは「笑顔と共に まごころ込めた 多伎いちじくを」に決まりました。これから約2か月にわたって、まごころを込めた多伎いちじくが県内外12市場に出荷されます。



<陣太鼓で見送り>



<"ほーらいちゃん"の合図でテープカット>